

みなさんは、別れの時に多く歌われる 「蛍の光」 が二番まででなく四番まであるのをご存じでしたか？

実は大東亜戦争が終結してから、占領軍の米国 (GHQ) がふさわしくないと、二番以降を意図的に削除させたから。

原曲のスコットランド民謡『オールド・ラング・ザイン Auld Lang Syne』を三拍子に編曲した『別れのワルツ』は、閉店・閉館時のBGMとしてよく用いられる。

スコットランド民謡 (過ぎし日) による歌曲 明治14年 (1881) 文部省編の「小学唱歌集」に掲載された・



歌詞	ふりがな	意味
壱		
蛍の光 窓の雪	ほたるのひかり、まどのゆき	蛍の淡い光や 月光の雪明かりを窓から取り入れ
書読む月日 重ねつつ	ふみよむつきひ、かさねつゝ	書物を読む日々を重ねていると
いつしか年も すぎの戸を	いつしかとしも、すぎのとを	いつの間にか年月は過ぎ去っていき
開けてぞ今朝は 列れ行く	あけてぞけさは、わかれゆく	今朝は杉の戸を開け 級友と別れていく
弐		
止まるも行くも 限りとて	とまるもゆくも、かぎりとて	故郷に残る者も 去り行く者も
互に思う 千萬の	かたみにおもふ、ちよろづの	今日限りなので 互いに思い合う無数の想いを
心の端を 一言に	こゝろのはしを、ひとことに	たった一言「幸あれ (どうかご無事で)」と歌うのだ
幸くと許り 歌うなり	さきくとばかり、うたふなり	無事で平安で幸せであれ
参		
筑紫の極み 陸の奥	つくしのきはみ、みちのおく	九州の果てでも 東北の奥地でも
海山 遠く隔つとも	うみやまとほく、へだつとも	海や山で遠く隔てられても
その真心は 隔て無く	そのまごゝろは、へだてなく	真心は隔てられることはなく
一つに尽くせ 国の為	ひとつにつくせ、くにのため	ひたすらに力を尽くせ 国のため
四		
千島の奥も 沖縄も	ちしまのおくも、おきなほも	千島列島の奥も 沖縄も
八州の内の 護りなり	やしまのうちの、まもりなり	日本国の護りの要 (かなめ)
至らん国に 勲しく	いたらんくに、いさをしく	統治の及ばぬ異国には勇敢に
努め我が背 恙無く	つとめよわがせ、つつがなく	尽力せよ我が兄弟 無事であれ

お願い !! この蛍の光を歌う時に、二番以降も追加して頂ければ幸いです。学童に広く周知をお願いします。